

園としての自己評価

～ 一人ひとりの自己評価をうけて ～

- 保育士自身が楽しんで保育していること、保育士間の信頼関係の構築やクラス間での話し合いによる意思統一に関してはよくできている・できているが大部分を占め、定期的なクラス会議やその内容から安心して保育することにつながっていることは評価できる。
大人同士の信頼関係の中で互いを認めあった上で、子どもにとってどうあったら良いかの視点から率直に話し合っていくことを引き続き大切にしていく。
- 子どもへの喧嘩の際の対応、子ども同士の関係をよくするような言葉かけや突発的な状況に対する対応について、前年度は自己評価の低さがあったがよくできている・できているが多くなり、変化がみられた。
- 発達に支援が必要な子どもたちが多い現状の中、園として保育の専門性を高める研修や学びの機会を増やすことと合わせ、職員一人ひとりが安心して保育できる環境づくりを園としても努力していきたい。
- また、保育者同士の連携や悩みや喜びも率直に共有できる職員集団づくりをめざす。